

白河高原薪の会

活動の歩みと今後の課題

代表 大橋 善博



白河高原薪の会について

設 立：平成27年（2015年）2月

事務所：西白河郡西郷村羽太字高野舎4-59

会 員：薪ストーブのユーザー

薪ストーブに興味がある人

森の育成と環境保存に関心のある人

会員数：16名（男性14名 女性2名）

福島県西白河郡西郷村

(全国で唯一新幹線の駅がある村)



福島県西白河郡西郷村

(全国で唯一新幹線の駅がある村)

白河高原薪の会事務所

森の教室会場

新白河駅



白河高原薪の会について

設立の経緯

- ・東日本大震災(原発事故)に伴う放射性物質の問題
- ・薪ストーブユーザーは燃料確保の問題が発生

森林の放射能汚染や荒廃からの早期回復を模索



薪づくりを通じた森林整備の活動を開始

設立の目的

地域と協同して皆伐間伐等を実施

- ・森林の健全な育成(多面的機能を向上)を目指す
- ・伐木材を会員の薪ストーブ用薪として確保
- ・森林の大切さとその有効利用について普及啓蒙

白河高原薪の会 活動の歩み

1. 健全な森林育成のための活動

- 平成27年(2015)県の助成金を活用し、道具を揃え活動がスタートした。
- 山林所有者との協定を交わし、皆伐、伐木材の処理、下草刈りなどの作業を行った。
- 残留放射性物質対策として皆伐を中心に活動し、伐木材の薪利用は取り扱いの注意点を提起しながら安全に行うよう指導した。
- 地域の植樹活動等への参加・協力を行った。

白河高原薪の会 活動の歩み

2. 薪ストーブの燃料確保のための活動

- 活動により発生した薪原木を玉切りし、分配したものを各自持ち帰って薪とする。
- 立木購入費用や作業経費を捻出するため、会員は分配量に応じた費用を支払う。
- 作業に参加した会員は参加回数に応じ分配金を受け取る。
- 現在はゴルフ場内の不要樹木の伐木を主な活動として薪づくりを行っている。

伐採作業・薪づくり



地域の植樹等活動への参加



「赤面山を緑にする会」主催の植樹活動に参加

白河高原薪の会 活動の歩み

3. 地域社会に対しての普及啓蒙ボランティア活動

(1) ゴルフ場森の教室等の事業

(2) 福島県主催のイベント等での薪割り体験

(1) ゴルフ場森の教室等の事業(H29～)

- 公益社団法人ゴルフ緑化促進会の助成
主催：白河高原薪の会
共催：グランディ那須白河ゴルフクラブ
後援：西郷村・教育委員会
- 環境保全の重要性啓蒙を目的に、小学生と保護者を対象として、上記ゴルフ場内において「森の教室」の開催。
- ゴルフ場内の草刈りと不要樹木の伐採に協力するとともに伐木の薪利用を行っている。

ゴルフ場森の教室

募集チラシ

白河高原薪の会 主催

グランディ那須白河ゴルフクラブ 共催

西郷村 西郷村教育委員会 後援

第7回 ゴルフ場 森の教室

令和6年10月27日(日) 午前10時～午後1時 (雨天中止)
会場: グランディ那須白河ゴルフクラブ 那須コース 臨時駐車場

小学生のみなさん来てね
参加は無料です!
大人といっしょにね



- ・当日は会場へ直接おいで下さい
 - ・会場へは那須コースのゲートから入り、次のT字路を左折して下さい(ゴルフカートにご注意)
 - ・軽食がありますが、飲み物は各自でお持ちください
 - ・参加者の安全に配慮するとともに、万が一に備え傷害保険に加入します
 - ・この催事は、公益社団法人ゴルフ緑化促進会の緑化協力を活用して行われます
- ※定員は小学生・大人あわせて50名です。
締め切りは10月20日 申し込みはお早めに
(定員に達した時点で締め切らせていただきます)
申し込み方法は裏面をご覧ください



実施内容(例)

- 植樹体験
- 森と樹木の講和と自然観察
- 薪づくり体験
- 直火料理体験
- 丸太切り体験

第7回ゴルフ場森の教室の様子①



第7回ゴルフ場森の教室の様子②



ゴルフ場森の教室等の事業

ゴルフ場森の教室の開催状況

- * 第1回 平成29年11月15日 小学生8名 付添7名
- * 第2回 平成30年11月11日 小学生13名 付添16名
- * 第3回 令和1年10月20日 小学生15名 付添11名
- * 第4回 新型コロナウイルス感染症流行のため中止
- * 第5回 令和4年11月6日 小学生21名 付添24名
- * 第6回 令和5年11月5日 小学生25名 付添33名
- * 第7回 令和6年10月27日 小学生20名 付添26名

合計 219名

ゴルフ場での伐採作業

ワイヤーケーブルで牽引



ゴルフ場での伐採作業



(2) 福島県主催イベント等での薪割り体験

交流イベント薪割り体験の運営

- * 第14回うつくしま育樹祭 H28年11月12日 白河市東風の台運動公園
- * 第15回うつくしま育樹祭 H29年11月11日 南相馬市原町区雫
- * 第69回全国植樹祭サテライト会場 H30年6月10日 大玉村
- * 第1回ふくしま植樹祭 H30年11月4日 南相馬市鹿島区北海老地内
- * 第2回ふくしま植樹祭 R1年10月11日 大玉村 ふくしま県民の森
- * 第3回ふくしま植樹祭 R2年10月11日 猪苗代町 昭和の森 (中止)
- * 第4回ふくしま植樹祭 R3年11月7日 浪江町請戸地内
- * 第5回ふくしま植樹祭 R4年9月11日 矢吹町文京町地内
- * 第49回福島県緑の少年団大会 R5年7月24日 大玉村
- * 第6回ふくしま植樹祭 R5年9月3日 南会津町 会津山村道場
- * 第50回福島県緑の少年団大会 R6年7月23日 大玉村
- * 第7回ふくしま植樹祭 R6年11月10日 いわき市

第7回ふくしま植樹祭交流コーナーでの薪割り体験



福島県緑の少年団大会での薪割り体験



今後の課題

- 高齢化による会員数の減少と作業パフォーマンスの低下により、薪生産量が減少しているので、新たに若い力を積極的に集めていく必要がある。
- 当初は薪生産活動が主体であったが、年々ボランティア活動の比率が大きくなっているため、薪ユーザー以外へも会員募集の門戸を開いていく必要がある。

おわりに

- ・薪づくりは良循環をもたらす自分づくりです。
 - ・イベントの際にいただく感謝の言葉や笑顔は、何物にも代えがたい報酬であり、ここから得られる満足感や幸福感がボランティア活動を続けるモチベーションとなっています。
- 会員一同、まだまだ頑張ります。



ご清聴ありがとうございました。